



麻布大学(獣医)



インターTOMAS 卒業生

濱田 功隆さん [成蹊高]

入会時の課題

幼稚園がインターナショナルスクールだったため、そこで培った英語力を維持・向上させたいと考えていた。

こうやって解決!

ネイティブの先生と対1でレッスンをを行い、実践的な英語表現を学習。英語でのコミュニケーション力を向上させた。



受験DATA

・麻布大学(獣医)

合格

英語資格取得DATA

小6 英検® 2級合格 高3 英検® 準1級合格

指導のポイント

小1から通塾している利点を生かし
基礎～応用まで計画的に指導



西村 康和 先生

小1から通塾してくれているため、基礎から応用まで順を追って計画的に指導しました。コツコツと途切れることなく学習できるタイプで、それが志望校合格の決め手になりました。「継続は力なり」は彼のためにある言葉といっても過言ではありません。

計画的な英検® 取得が受験で大きな自信に

Q.インターTOMASに入会したきっかけは?

幼稚園がインターナショナルスクールだったため、小学校入学後もそこで培った英語力を維持・向上させたいと考えており、ネイティブの先生からコミュニケーションのための英語を学べるインターTOMASに入会しました。

Q.レッスンの内容を教えてください

小学生の頃はネイティブの先生との英会話が中心で、必要に応じて英検®の対策をしていただきました。私は小6でスイス、高1でアメリカに留学したのですが、小1からインターTOMASで実践的な英語を学んでいたため、現地の人たちとも問題なく意思疎通できました。

中学以降は英検®やTOEFL®、学校の定期試験、大学受験など、状況にあわせて柔軟に対策していただきました。おかげで英検®は準1級まで取得することが

でき、受験にも自信をもって臨むことができました。

Q.後輩へのアドバイスをいただけますか?

日本人の多くは英語が苦手としているため、英語を得意科目にしておくことで、受験時に大きなアドバンテージになります。具体的な勉強方法でいえば、多くの過去問に手を広げるよりも、一つの年度を完璧に仕上げる方法がおすすめです。また、ハリポッターなどの洋画を字幕付きで見ると効果的だと思います。

Q.今後の抱負や目標を教えてください

獣医学部に進学して獣医をめざすので、将来、外国人の飼い主のペットを診察する際に、英語でコミュニケーションをとりながら治療できたらと考えています。また、英語で書かれた論文を原文のまま理解できるようになりたいので、大学でも引き続き英語力を磨いていきたいです。